平成26年度　北海道音更高等学校学校評価　自己評価・学校関係者評価書

学校関係者評価委員	学校評議員

1　本年度の学校経営方針・重点事項など

1　学習内容の「精選と基礎・基本」の指導の徹底
2　普通科「多様な進路に応じた選択科目」、農業科「プロジェクト学習」の充実
3　基本的生活習慣と規範意識を確立し、「健やかで逞しい心身」の醸成
4　生徒の自己実現を図る「進路指導」の充実推進
5　地域連携による「体験学習」の充実推進
6　教育環境の点検・整備による「安全確保と環境美化」の向上推進

2　自己評価結果

A(4.0～3.5)：十分　B(3.5～2.4)：概ね十分　C(2.4～1.5)：やや不十分　D(1.4～1.0)：不十分

領域	評価項目	評価の観点	自己評価・改善の方策			評価委員 評価	
			達成状況	取組の適切さ	改善の方策	達成状況	取組の適切さ
経営・管理	運営組織	1　校務分掌組織は有効適切か	2.9	B	・新しいタイプの高校ならではのプライオリティを踏まえ、学校課題を重点化し、組織的・計画的な取組を進める。 ・校務支援システムを有効に活用し、業務の効率化を図る。 ・望ましい人間関係を醸成し、組織的に業務を遂行できるよう鋭意努力する。 ・チームによる業務遂行体制を確立する。 ・コンプライアンスを一層高める ・学校便り、HP 活用を強化する ・懇談機会の設定や行事への参加に積極的に努め、家庭、地域との連携を深める。 ・教員数の変動、進路動向の変化(進学対応)等に対応するため教育課程の検討を継続する。	3.7	A
		2　分掌組織機能の適切さ	3.0	B			
		3　所属分掌の前評価にもとづいた実践	2.9	B			
		4　校務の情報化の進展	2.8	B			
		5　職員会議の円滑かつ有効実施	3.1	B			
	教職員	6　職場環境の望ましい人間関係	3.0	B			
		7　OJT(On-the-Job Training)の機能	2.6	B			
	連携	8　保護者への情報提供	3.0	B			
		9　保護者の理解・協力	2.9	B			
		10　地域関係機関との連携	3.1	B			
		11　教職員の)電話応対、接遇マナー	3.2	B			
	施設設備	12　施設設備の維持管理や補充・補修	3.1	B			
		13　責任保守点検、施錠、整理整頓	2.7	B			
		14　防犯対策の整備、周知	2.7	B			
	教育課程	15　編成方針・手順に対する共通理解	3.0	B			
		16　生徒、保護者、地域のニーズへの配慮	2.9	B			
(学校関係者)評価委員の意見		・入学者選抜における 1.6 倍という高い出願倍率は、新しい学校作りの素晴らしいスタートと言える。次年度は反動による倍率低下が予想されるので、先手を打った積極的な取組が期待される。 ・学校評議員に日常の教育活動の情報を伝える手段を更に工夫して欲しい。					
学習指導	年間指導計画	17　指導計画の具体化	2.8	B	・習熟度別授業や生徒による授業評価の全校的な実施等の施策を通じ、生徒に学ぶ楽しさ、わかる喜びを与え、生徒を引きつける授業の工夫を図る。 ・北海道高等学校学力テスト等の活用による学力実態把握を活かし、どこを伸ばし何を改善すべきかの明確化に努める。 ・学習意欲向上を促し、説明責任を果たす学習評価方法の研究を進める。	3.4	B
	教材	18　教材の精選	2.9	B			
	教科指導	19　生徒の実態に即した指導	3.0	B			
		20　十分な準備にもとづいた授業	2.8	B			
	評価	21　評価の観点や方法、基準明示、資料整備	2.8	B			
	確かな学力	22　個に応じた学習指導	2.9	B			
		23　生徒主体のわかる授業の取組	2.9	B			
		24　言語活動を意識した授業展開	2.9	B			
	学習習慣	25　基礎基本の徹底と学力の定着	2.9	B			
		26　授業規律の確立	2.9	B			
		27　家庭学習の推進	2.5	B			
		28　授業規律に係る指導	3.0	B			
評価委員の意見		・基礎基本の着実な定着を図り、学力の底上げを図る指導方法の工夫を継続して欲しい。					
生徒指導	指導体制	29　問題行動の予防・発見・対応・再発防止計画的実行	3.0	B	小さなトラブルを見逃さず素早く組織的に対応し、きめ細かな面接指導等により、生活規律の向上に努める。 望ましい人間関係、信頼関係の醸成を図り、教職員全体で課題意識を共有し、日常的に協働的な指導体制による取組が必要である。 ・いじめアンケートや生徒支援ツールほっとの活用を充実させ、いじめの早期発見に努める。 ・ネットトラブルへの注意を強化し、未然予防、早期発見に努める。	3.6	A
		30　共通理解、組織的対応	2.9	B			
		31　HR担任のへ指導負担の偏り	2.9	B			
		32　生徒指導部への指導負担の偏り	2.9	B			
		33　地域の教育機関や関係機関との連携	2.9	B			
	生徒理解	34　諸調査の実施、結果の活用	3.0	B			
		35　必要に応じた組織的な教育相談体制	3.2	B			
	生徒指導	36　服装、身だしなみ、言葉遣い、挨拶指導等の徹底	3.0	B			
		37　問題行動の早期発見・予防指導の実行	3.0	B			
		38　問題行動対応、事後指導	3.1	B			
	いじめ防止	39　いじめの早期発見・予防対策	3.1	B			
		40　いじめ関係生徒への対応、事後指導	3.2	B			
評価委員の意見		・新しい制服の導入や挨拶等生活規律の向上の成果が進路実現に結びつくことと期待できる。					

進路指導	指導体制	41 3カ年を見通した各学年計画の作成	2.8	B	・組織的、計画的ななキャリア教育全体計画を作成する。 ・積極的な進路相談員や講師招聘など外部機関の活用を継続する ・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟを卒業までに 100%体験をさせるなど、職業観の育成の工夫を図る。	3.4	B
		42 諸調査結果等、具体的な資料を用いた個に応じた指導	2.9	B			
		43 進路指導についての共通理解と協働体制	2.6	B			
		44 分掌と学年の連携	2.8	B			
	指導の実態	45 生徒の進路意識や目的意識を高める指導	2.9	B			
		46 補習・講習等希望実現への援助活動	2.7	B			
		47 進路希望実現への成果	2.8	B			
評価委員の意見		・進学実績も向上し、講習等の進学指導の成果が大きい。 ・進学者も含め、将来的な就職を見据えた職業観の育成が大切である。					
健康安全指導	健康・美化	48 計画的健康安全指導、健康調査・相談	3.1	B	・安全教室実施内容を工夫し、生徒の健康安全に関する意識を高め、自己管理能力育成する。 ・業務継続計画を策定し、災害時の基本的対応を周知徹底する。 ・ﾈｯﾄﾄﾗﾌﾞﾙの予防的指導を強化し、家庭との連携及び講話等を活用した啓発活動に取り組む。	3.6	A
		49 生徒の環境美化意識の高揚、清掃活動の指導	3.0	B			
		50 職場環境日常的整備、生徒美化意識向上への率先垂範	2.8	B			
	安全・防災	51 生徒の防火・防災意識指導や訓練	3.1	B			
		52 交通安全意識を高める指導	3.1	B			
		53 防災規定や危機管理ﾏﾆｭｱﾙの周知	2.7	B			
		54 事故発生からの迅速な連絡・報告や事後処理	3.1	B			
評価委員の意見		・暴風雪等に対する危機管理力を更に高めて欲しい。					
特別活動・学級・学年	生徒会	(本校の)積極的な参加と協力による生徒会活動	3.1	B	・生徒の自主的な活動が助長されるよう指導を工夫し、生徒一人ひとりが積極的に参加できる雰囲気の醸成を図る。 全日制普通科と定時制農業科が協力して、本校の特色である「花と緑の活動」を行い、地域の一員としての自覚と広い視野を育み、地域社会に貢献する人材育成に努める。	3.3	B
	部活動	(本校の)部活動の充実	3.1	B			
	学校行事	地域や学校の特色を活かした学校行事の推進	3.0	B			
		創意を生かし、調和に配慮した行事計画	2.9	B			
	学級・学年	年間計画にもとづいた適切な LHR 活動	3.1	B			
		(本校の)学級経営の協働体制の構築	3.2	B			
		(本校の)学年経営の協働体制の構築	3.2	B			
評価委員の意見		・交通安全啓発活動や緑化活動などのこれまで続けてきた実践を、農業科閉科後も継続していく努力が求められる。 ・音更町唯一の高等学校として、今まで以上に地域と連携した活動を実施していって欲しい。					